

九州地域バイオクラスター推進協議会

平成 19 年度事業報告・決算報告

平成19年度事業報告

1 ネットワーク形成事業

(1) 九州地域バイオクラスター推進協議会設立総会

日時：平成19年9月27日(木) 13:00～13:40

場所：ホテルオークラ福岡 4階「平安」

概要：第1～5号議案(設立趣意書、協議会会則、役員名簿、平成19年度事業計画、平成19年度収支予算)について審議し承認を得た。

(2) 九州地域バイオクラスター計画キックオフシンポジウム

日時：平成19年9月27日(木) 14:00～17:00

(17:15～18:45 交流会)

場所：ホテルオークラ福岡 4階「平安」

参加人数：約250名

内容：基調講演(14:15～15:15)

講演者 アサヒビール(株) 未来技術研究所 所長 大竹 康之 氏

演題 アサヒビールの「食と健康」への取り組み

基調講演(15:15～15:30)

講演者 経済産業省地域経済産業グループ地域技術課課長

兼産業クラスター推進室長 古瀬 利博 氏

演題 九州バイオクラスターに期待すること

パネルディスカッション(15:40～17:00)

登壇者 九州経済産業局地域経済部長 笹岡 賢二郎 氏(コーディネーター)

オーム乳業(株) 専務取締役 農 新介 氏

坂元醸造(株) 専務取締役 長野 正信 氏

CMPジャパン(株) 代表取締役 牧野 順一 氏

崇城大学生物生命学部長 岩原 正宜 氏

テーマ 九州地域におけるバイオ産業の発展のあり方について

交流会(17:15～18:45)

(3) 企画運営委員会(ネットワーク強化委員会)設置事業

2回の企画運営委員会を開催し、協議会の活動及び運営の方向性、事業進捗状況管理のための審議等を行った。

第1回

日時：平成19年12月10日(月) 13:30～15:30

場所：九州経済産業局 第2・第3会議室

出席者：農新介、岩原正宜、久原哲、古賀光雄、林田眞二郎、坂本珠美、甲斐孝憲

主な審議内容：

- ・平成19年度事業進捗状況報告
- ・平成20年度事業計画案について
- ・自立化プランについて
- ・その他(次回開催日程、総会時の講師選定について)

第2回

日 時：平成20年2月5日（火）13：30～16：30

場 所：熊本テルサ研修室CD

出席者：農新介、岩原正宜、坂本珠美、古賀光雄、林田眞二郎、永野正信、
下田雅彦

主な審議内容：

- ・平成19年度事業進捗状況及び予算執行状況について
- ・平成20年度事業計画案及び予算案について
- ・その他（平成20年度総会日程、企画運営委員会日程、ロゴ、会報誌等について）

（４）クラスターマネージャー配置事業

人 員 クラスターマネージャー（CM）

九州大学知的財産本部 特任教授 深見 克哉 氏

サブクラスターマネージャー（SM）

宮崎大学産学連携支援センター客員教授 平野 惇 氏

サブクラスターマネージャー（SM）

（財）くまもとテクノ産業財団産学連携推進センター科学技術コーディネーター
森下 惟一 氏

活 動 3名のCM,SMを委嘱し、地域企業とのネットワーク形成、協議会への入会勧誘、
事業化案件の支援等を行った。また、大学、TLO、各県支援機関との連携を深
め、今後のクラスター形成を促進するための基盤の整備を行った。各CM,SMの活
動実績は以下の通り。

（活動実績）

深見CM 活動21回(11月1回、12月3回、1月5回、2月4回、3月8回)

平野SM 活動9回(11月1回、12月3回、1月2回、2月2回、3月1回)

森下SM 活動24回(12月5回、1月7回、2月7回、3月5回)

（５）九州地域バイオ関連企業データベースの作成

九州地域内のバイオ関連企業情報を調査、整理し、構築したデータベースシステムへ投入。
会員企業には、アクセスし情報を参照するためのIDを発行し、活動に利用できるようにす
る。公募提案を審査し、(株)熊本ソフトウェアへ委託し実施した。データベースの細部につき
最終調整中。

2 新事業創出支援事業

（１）新事業創出プロデュースチーム（機能性評価ネットワーク構築調査事業）

研究開発の段階毎の評価手法を整理するとともに、評価を実施できる九州内の企業のリ
スト化（必要に応じ九州外企業を含む）、開発課題の抽出を行い、機能性・安全性の評価につ
いてワンストップサービスを実現するための体制準備を行った。

公募提案を審査し、(株)KRIへ委託。アンケートを実施して、公設試、企業で評価できる
分析手法を網羅的にデータベース化し、併せて、販売、開発型企業のニーズ調査（文献調査）
等を実施。細部につき最終調整中。

3 連携促進事業

（１）九州地域バイオベンチャーフォーラム

日 時：平成19年10月29日（月）14：15～18：00

場 所：長崎農協会館（JA会館）7階会議室

参加人数：約200名

内容：基調講演(14:15~15:15)

演題「我が国のバイオ産業の現状と展望」

講演者 日経BP社 バイオセンター長 宮田 満 氏

バイオ企業事例紹介

「APS型電子カルテシステムの開発と展望」

(株)アップルドクター 代表取締役社長 吉田 彬 氏

「創薬試薬ツールとしての初代培養細胞を用いたBBBキット」

ファーマコセル(株) 代表取締役社長 中川 慎介 氏

「新規メタボリックシンドローム予防・治療機器の開発」

熊本大学大学院 医学薬学研究部 教授 甲斐 広文 氏

「創薬・毒性分野におけるITビジネスソリューションのご紹介」

(株)富士通九州システムエンジニアリング

PLMソリューション総括部IT・サイエンス担当課長 松下 まゆみ 氏

施設見学会(16:20~16:50)

ながさき出島インキュベーター(D-FLAG)視察

交流会(17:00~18:00)

(2) インキュベーションマネージャーと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業

インキュベーションマネージャー等地域の産業支援人材と、弁理士・弁護士(高度人材)のネットワークを強化することにより、地域での問題解決能力を向上させるための取り組みを行った。具体的には、弁理士・弁護士によるプレゼンテーション及びインキュベーションマネージャーを中心とする参加者との意見交換会を、下記の3会場で行った。

第1回(平成20年2月20日(水)15:00~17:00 八咫村ホリウミ) 参加者：19名

参加者 鴻和法律事務所 田中雅敏弁護士・弁理士、中嶋特許事務所 中嶋和昭弁理士、不二特許事務所 田島光一弁護士、他16名。

第2回(平成20年2月28日(木)14:00~17:00 ウェルシティ宮崎) 参加者：22名

参加者 伊達法律事務所 柴田耕太郎弁護士、龍神国際特許事務所 龍神嘉彦弁理士、経済産業省 八山幸司課長補佐、他19名。

第3回(平成20年3月7日(金)15:00~18:00 KKRホテル熊本) 参加者：18名

参加者 八尋光良法律事務所 八尋光良弁護士、越智国際特許事務所 越智豊弁理士、成瀬法律事務所 成瀬裕弁護士、JETRO 熊本貿易情報センター 中村芳生所長、他14名。

(3) フードバイオビジネススクール(経営者教育)事業

戦略的な事業展開ができる経営者の育成を目標に、経営戦略・組織マネジメント・薬事法等の経営に関する科目や食品製造・微生物学・機能性評価等の技術に関する科目のカリキュラムを作成し、プレスクールを実施した。公募提案を審査しNPO法人イマジニに委託。

第1回フードビジネススクール企画会議(平成20年2月5日(火)13:00~15:00 於：あすみん)

出席者 福岡大学経済学部教授 阿比留正弘、森川健康堂 数岡徹、中村学園大学栄養科学部 津田博子教授、日本大学生物資源科学部 森永康教授

主な検討事項：諸外国・国内の類似事例研究、対象者に関する討論・研究、カリキュ

ラム内容、教育手法に関する討論・研究、講師の確保、学位授与方法に関する討論・研究

第2回フードビジネススクール企画会議(平成20年3月6日(木)13:00~15:00 於九州経済産業局)

出席者 福岡大学経済学部教授 阿比留正弘、森川健康堂 数岡徹、中村学園大学栄養科学部 津田博子教授、日本大学生物資源科学部 森永康教授 近畿バイオインダストリー振興会議 橋本昭栄

主な検討事項: 諸外国・国内の類似事例研究、対象者に関する討論・研究、カリキュラム内容、教育手法に関する討論・研究、講師の確保、学位授与方法に関する討論・研究

プレススクール実施(平成20年2月29日~3月1日 於福岡ビル9階第5ホール)

受講者18名(内会員10名、非会員8名)HP、DM、メルマガジン、日本経済新聞、健康産業新聞、西日本新聞等で参加者告知、募集。

講義内容:

平成20年2月29日(金)

13:00-13:10 オリエンテーション

13:10-14:40 「脂質」

生活習慣病を予防する機能性脂質研究の最前線

佐賀大学農学部生命機能化学科 教授 柳田 晃良 氏

15:00-16:30 「臨床医学」

糖尿病からみた機能性食品~糖尿病専門医の立場からみた機能性食品への期待

御茶ノ水女子大学生生活科学部食物栄養科

準教授 曾根 博仁 氏

16:50-18:20 「食品安全」

健康食品の健康への影響と健康被害

(独)国立健康・栄養研究所 梅塚 敬三 氏

平成20年3月1日(土)

13:00-14:00 「機能性」

ニュートリゲノミクスによる食品の機能性・安全性評価法

東京大学大学院農業生命学科 教授 阿部 啓子 氏

14:50-16:20 「知的財産戦略」

食料産業における知的財産の戦略的活用

弁理士 西浦 嗣晴 氏

16:40-18:10 「マーケティング」

健康食品通販の現状と課題

(社)日本通信販売協会 理事 柿尾 正之 氏

(4) バイオイブニングカフェの開催(補助対象外)

各地域での同分野・異分野を含めた新たな人的連携の構築・強化(底上げ)のため、誰もが自由に参加でき、より直接的かつ親近な情報交換・人的交流を図る場(きっかけづくり)を提供するため、企業や研究者等が一定のテーマの下で小規模に参集し、リラックスした雰囲気

中で、話題提供や意見交換・交流を行った。熊本市のくまもと大学連携インキュベーターに於いて、4回（概ね月1回）実施し、各回話題提供者によるプレゼンテーション及びフリーディスカッションを実施した。

4 販路開拓支援事業

(1) 地場中核企業や大手企業とのアライアンスマッチング事業

九州地域で生産されている機能性・健康食品の販路開拓を行うため、大都市圏からバイヤーを招致し、九州の2会場で、会員企業を中心とした商品の評価・商談会を行った。参加企業から、開催時及び後日、新規取引成立の報告が数件あった。

第1回事業（平成20年3月11日 於 TKP 博多シティセンター）

参加バイヤー13名（よしや、サカガミ、大寿、シガデン、マダジヨイ、清水屋、ダイマ、石原、大酒販、のぐち、三井物産九州支社、ゴッ産業）

参加メーカー15名

第2回事業（平成20年3月18日 於 ステーションホテルニューカゴシマ）

参加バイヤー2社6名（三菱商事鹿児島支店、コゲツ産業（5名））

参加メーカー10名

(2) アンチエイジングカフェ（A2C）

健康・機能性食品のマーケティング・普及のため、消費者ニーズを汲み取り、商品開発に反映させるため、メーカーと消費者の出会いの場を提供した。公募提案を審査し（株）フラウに委託し2回の事業を実施。出展企業と消費者双方から通常の販売・営業活動等を通じては得がたい貴重な情報をアンケートを通じて得た。

第1回事業（平成20年1月28日 於 福岡市 都久志会館）

出展企業5社（森川健康堂、田苑酒造、活亜興、ベストアメニティ、カゴメ）

主婦を中心とした消費者 23名

第2回事業（平成20年2月26日 於 ホテル熊本テルサ）

出展企業3社（活亜興、カゴメ、石橋工業）

主婦を中心とした消費者 38名

(3) 環黄海バイオクラスターシンポジウム

平成19年11月27日（火）ホテル日航熊本にて開催。国内外の企業、研究機関関係者等により、基調講演、パネルディスカッション、交流会、パネル展示、ビジネス相談会等を実施。参加者約120名。

開催日時：平成20年11月27日（火）13：00～20：30

場 所：ホテル日航熊本 阿蘇D

基調講演（13：05～14：35）

「花王の機能性食品に関する研究開発の状況」

花王(株)ヘルスケア食品研究所 室長 桂木 能久 氏

「中国の保健業界の現状と中国のバイオ産業政策」

上海市バイオ医薬業界協会秘書長 陳 少雄 氏

「韓国の機能性食品を中心としたバイオ政策」

東亜大学校 生命資源科学大学 教授 鄭 永基 氏

パネルディスカッション（14：50～16：30）

- ・コーディネーター

九州経済産業局地域経済部製造産業課 課長 赤時 孝治 氏

- ・パネリスト

中国上海市生物医薬産業協会 秘書長 陳 少雄 氏

韓国釜山広域市東亜大学校生物資源科学大学 教授 鄭 永基 氏

佐賀大学生命機能科学科食品栄養化学分野 教授 柳田 晃良 氏

森川健康堂(株) 開発担当取締役 数岡 徹 氏

(株)ベンチャーラボテクニカルナビゲーター 高野 勇 氏

交流会(18:30~20:30)

その他

- ・ビジネス相談会(熊本県産業技術センター微生物応用部 部長 松田 茂樹 氏)

- ・パネル展示(機能性食品等の紹介)

5 情報提供事業

(1) 情報発信・提供事業

協議会の活動状況、会議・催事の通知、バイオ関連情報等の広報のため、独自ドメイン名によるホームページを構築、運用した。公募案件を審査し、熊本ソフトウェア(株)に委託。上記バイオ関連企業データベースと一体化し、会員企業にIDを発行してより詳細な情報を参照・更新できるような仕組みにするため作業継続中。また協議会のパンフレットを作成するとともに、健康産業新聞1面に広告を出し、広報、普及に活用した。

(2) 会報発行

会報(創刊合併号)を10,000部作成し、会員に送付。県内市町村、業界団体等へ送付した他、各種イベント・集会等において協議会活動のPR、会員勧誘、一般周知のツールとして使用中。公募案件を審査し、(株)に委託。

平成19年度九州地域バイオクラスター推進協議会(会費事業)収支決算書

【収入の部】	予算額	決算額	差額	備 考
会 費	2,580,000	4,002,000	1,422,000	法人62口 × @60,000 + 個人47口 × @6,000 = 4,002,000 (未納額)法人1口 × @60,000 + 個人7口 × @6,000 = 102,000を含まず。
雑収入	500,000	501,415	1,415	設立総会時交流会負担金 (@5000 × 100名) = 500,000 後期利息 = 1,415
合 計	3,080,000	4,503,415	1,423,415	

【支出の部】	予算額	決算額	差額	備 考
委員等謝金	300,000	0	300,000	補助事業にて対応 流用先: 通信運搬費: 33,880円 消耗品費: 54,181
委員等旅費	100,000	0	100,000	補助事業にて対応 流用先: 産業クラスター関連費: 80,920円
委託費	0	0	0	
印刷製本費	1,600,000	1,483,585	116,415	設立総会議案書 100,000 協議会封筒 46,410 会報(創刊合併号) 1,337,175
会場借料	100,000	73,710	26,290	バイオ推進フォーラム(長崎)会場借料
会場設営費	0	0	0	
会議費	620,000	474,380	145,620	設立総会后交流会
広告宣伝費	0	0	0	
通信運搬費	0	33,880	-33,880	切手、送料、電話代等 流用元: 委員等謝金: 33,880円
消耗品費	0	54,181	-54,181	会長印・事務局長印、事務用ゴム印、CM等名刺代 流用元: 委員等謝金: 54,181円
臨時備役費	225,000	0	225,000	流用先: 仮払金へ全額。
産業クラスター 関連費	40,000	120,920	-80,920	A2C(アンチエイジングカフェ)参加者謝礼 流用元: 委員等旅費: 80,920円
予備費	95,000	17,629	77,371	振込み手数料等
小 計	3,080,000	2,258,285	821,715	
繰越金		2,245,130		
合 計	3,080,000	4,503,415		

平成19年度九州地域バイオクラスター推進協議会(会費事業)収支決算書

【収入の部】	予算額	決算額	差額	備 考
会 費	2,580,000	4,002,000	1,422,000	法人62口 × @60,000 + 個人47口 × @6,000 = 4,002,000 (未納額) 法人1口 × @60,000 + 個人7口 × @6,000 = 102,000を含まず。
雑収入	500,000	501,415	1,415	設立総会時交流会負担金 (@5000 × 100名) = 500,000 後期利息 = 1,415
合 計	3,080,000	4,503,415	1,423,415	

【支出の部】	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
総 会	621,000	574,380	46,620	設立総会議案書 100,000 設立総会后交流会 474380
九州地域バイオ ベンチャーフォーラム	100,000	73,710	26,290	会場借料
フードバイオ ビジネススクール	400,000	0	400,000	補助事業にて対応
アンチエイジングカフェ	160,000	120,920	39,080	A2C参加者謝礼
情報発信提供事業	1,704,000	1,337,175	366,825	会報発行
事務局管理費等	95,000	152,100	-57,100	協議会封筒 46,410 通信運搬費 33,880 消耗品費 54,181 振込手数料等 17,629
小計	3,080,000	2,258,285	821,715	
繰越金	0	2,245,130		
合計	3,080,000	4,503,415		

平成20年度九州地域バイオクラスター推進協議会 補助金事業収支予算書

(補助金名:広域の新事業支援連携等事業費補助金)

収入の部

項目	予算額	H19年決算額(参考)	備考
補助金	22,200,000	20,622,004	
収入金	600,000	75,000	
九州地域バイオベンチャーフォーラム	0	0	
地場中核企業や大手企業とのアライアンスマッチング事業	150,000	75,000	
アンチエイジングカフェ(A2C)	300,000	0	
展示会出展事業	150,000	0	
合 計	22,800,000	20,697,004	

支出の部

項目	予算額	H19年決算額(参考)	備考
1 ネットワーク形成事業	10,371,000	4,375,814	
(1)クラスターマネージャー配置事業	8,255,000	1,751,521	CM謝金、CM旅費、専門家・職員旅費、通信運搬費
(2)ネットワーク強化委員会(企画運営委員会)設置事業	1,198,000	966,390	謝金、委員等旅費、専門家・職員旅費、会場借料、補助職員手当、消耗品費、通信運搬費
(3)ワーキンググループ(部会)設置事業	918,000	0	謝金、委員等旅費、専門家・職員旅費、会場借料、補助職員手当、消耗品費、通信運搬費
(4)九州地域バイオ関連企業データベース作成	0	1,657,903	
2 新事業創出事業	3,952,000	8,091,318	
(1)機能性評価等ネットワーク構築調査事業	1,000,000	5,457,464	委託費
(2)提案公募型農工商連携等研究会設置事業	1,560,000	0	委託費、会場借料、通信運搬費
(3)IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業	812,000	708,994	謝金、委員等旅費、専門家・職員旅費、印刷製本費、会場借料、通信運搬費
(4)フードバイオビジネススクール(経営者教育)事業	580,000	1,924,860	委託費、専門家・職員旅費
3 連携促進事業	1,312,000	210,107	
(1)九州地域バイオベンチャーフォーラムの開催	942,000	210,107	謝金、講師旅費、専門家・職員旅費、会場借料、印刷製本費、補助職員手当、消耗品費、通信運搬費
(2)バイオトレーニング業	370,000	0	謝金、講師旅費、専門家・職員旅費、印刷製本費
4 販路開拓支援事業	6,019,000	5,087,509	
(1)地場中核企業や大手企業とのアライアンスマッチング事業	2,254,000	3,529,657	講師謝金、講師旅費、専門家・バイヤー・職員旅費、委託費、会場借料、補助職員手当、消耗品費
(2)アンチエイジングカフェ(A2C)	1,806,000	1,557,852	委託費、専門家・職員旅費、補助職員手当
(3)展示会出展事業	1,486,000	0	出展補助、専門家・職員旅費、印刷製本費、補助職員手当
(4)アジア国際ビジネスミーティング	473,000	0	専門家・職員旅費、会場設営費、通信運搬費、補助職員手当
5 情報発信・提供事業	1,146,000	2,932,256	
			委託費、印刷製本費、補助職員手当、通信運搬費
合 計	22,800,000	20,697,004	